

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 10月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中における玄関の施錠時間が減少する。 ・職員全員が「指定基準における身体拘束の対象となる具体的行為」を理解し身体拘束をしないケアを実践できる。 ・身体拘束だけでなく精神的な拘束についても理解し述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の施錠時間減少に向け職員間や運営推進会議を通して課題を共有し検討する。 ・身体拘束適正化に向けた施設内研修の開催 ・認知症ケアの個別事例において事例検討を開催する。 	12ヶ月
2	48	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人ひとりの生活歴や力を活かしたレクリエーション取り組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の生活歴や力を活かしたレクリエーションに取り組むことができる。1回/週以上 ・集団レクリエーションへ参加できる。(8割以上の入居者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のサービス担当者会議を開催し、やりがいを持って取り組んで頂くレクリエーションを検討する。 ・施設内で全員が参加して行えるレクリエーションを検討する。 ・花壇や畑を整備し施設内・外で行えるレクリエーションのメニューを増やす。 	8ヶ月
3	25	1人ひとりの残有機能や過ごし方を尊重した個別的ケアの実践に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの要望やニーズを掴んだ個性の高いケアが実践できる。 ・職員全員がサービス検討会議で決定した個別ケアを理解し実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日々の様子やケアの実践、考察を個別の電子記録に記入する。 ②入居者のその時々にも生まれる要望や課題について、ケア記録の内容やご家族の意向を尊重しサービス担当者会議で検討する。 	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。